

平成30年度 やまばと幼稚園教育課題 前期(4月～10月中旬) 自己評価

5段階評価(AA A B C D)、取り組みがなされなかった場合は斜線

課題1 遊びや体験活動の環境構成

B

重点的取り組み

○主体的で対話的な深い学びの推進	B
○自然や四季を感じる体験やそれを取り込んだ遊びの工夫	B
○遊びの継続性	B
○雨天・晴天時の室内遊びの工夫	B

課題2 丈夫な体づくり

A

重点的取り組み

○各種運動におけるメダル獲得への挑戦(個人)	A
○運動器具を使った運動遊びの展開と工夫	B

課題3 思いやりの心育て

A

重点的取り組み

○あいさつ・感謝の言葉の推進	A
○物を大切にできる態度	B

課題4 身につけさせたい基本的生活習慣

B

重点的取り組み

食事時間の調整力	B
トイレのスリッパ揃え	B
片付け	B
ロッカーの整理整頓	B
待つ姿勢、聞く姿勢、話す姿勢	B

課題5 言語感覚の広がり～漢字教育を通して～

C

重点的取り組み

イメージ力を育てる漢字遊び(漢字カルタ等の活用)	C
興味が湧き出る読書(漢字絵本)活動	C

課題6 小学校への接続

B

重点的取り組み

○小学校での体験学習	
○幼児期の終わりまでに育ってほしい「10の姿」の振り返り	B

課題7 特別支援教育(保育)

B

重点的取り組み

○子ども理解	B
○保護者の理解と連携	B
○支援体制の充実	B
○専門機関等への相談・連携	C

課題8 園内研修の充実(保護者対応を含む)

B

重点的取り組み

○研究の深化と成果の活用	B
○修養の場の設定	B
○人権尊重の意識高揚	B

総合評価

B

備考

- 本教育課題は、平成28年度から年度毎に見直しを図り今日に至っている。
- 各課題は、当園教員(全学級担任)が、研修の一環として教育状況を分析した中で導き、課題数は現時点で8としている。
- 重点的取り組みは、課題設定にあたっての根拠となる項目でもある。
- 本自己評価は、当園教員(全学級担任)が重点的取り組み状況を5段階で点数化し、さらに、高評価から順次AA、A、B、C、Dの5段階で表示した。
- 本自己評価は年度内に2回(前期、後期)実施する。